

軽井沢エコツーリズム推進全体構想について

1. 背景および目的

長野県の東の玄関口に位置する軽井沢町は、雄大な活火山浅間山の南山麓に位置する高原の町である。古くは中山道の宿場町として栄え、明治以降、緑豊かな自然環境の中で独自の国際保健休養地として発展を遂げて、近年、高速交通網の整備等により観光地としても大きな発展を遂げ、令和元年（2019年）現在で年間約840万人以上の観光客が訪れる国内屈指の避暑地・観光地となった。

今後、夏の軽井沢のイメージだけでなく、四季を通じて多くの方々に訪れていただけるよう町内の国立・国定公園内の自然・歴史・文化、中山道等を活用したプログラムを造成することにより、国内外の観光客に自然との共存の素晴らしさと文化、環境保全の重要性を認識していただくとともに自然環境の保全・観光振興・観光教育の持続促進を図っていく必要がある。

以上を踏まえ、軽井沢町まちづくり基本条例及び軽井沢町長期振興計画の基本方針である「森と高原の快適環境」「軽井沢ブランドを活かした交流のまち」「人を育てる教育・文化」を共通認識とし、軽井沢エコツーリズム全体構想を策定した。

2. 概要

■軽井沢エコツーリズム推進全体構想を推進する地域

当町全域にわたって豊かな森林等、様々な自然観光資源が存在しているため当町の全域を対象とする。

■対象となる主な自然観光資源

○動植物の生息地または生育地その他の自然環境に係るもの

・ **動植物**（【哺乳類】ツキノワグマ、ニホンリス等、【鳥類】アカハラ等、【昆虫類】アサマモンキチョウ・ベニヒカゲ（県指定天然記念物）等、【植物】ブナ・ミズナラ帯等、長倉のハナヒョウタンボク群落・峠のシナノキ（県指定天然記念物）、諏訪神社社叢・長倉神社社叢・遠近宮社叢（町指定天然記念物）等）

・ **動植物の生息地・生育地**（【草原環境】浅間山の噴火の影響及び稜^{まぐさ}や薪炭材の採取のため、昭和の初期までは離山をはじめ軽井沢の多くの地域が草原となっている）

・ **地形・地質**（【山岳】浅間山、小浅間山、離山、【地質】愛宕山のオルガンロック、^{おうけつ}甌穴等）

・ **陸水**（【滝】白糸の滝、千ヶ滝等、【湧水】御膳水、【河川】湯川、【温泉】小瀬・千ヶ滝・星野・塩壺・中軽・塩沢・発地・矢ヶ崎）

・ **自然現象**（【霧】近隣市町村と比べ発生が多い。高標高地からは雲海を眺められる場合がある）

○自然環境と密接な関係を有する風俗習慣その他の伝統的な生活文化に係るもの

・ **生活空間・風景**（【水との関わり】御影用水、雲場池、塩沢湖）

・ **伝統産業**（軽井沢彫）

■軽井沢エコツーリズム推進全体構想の実施方法

軽井沢町長期振興計画における基本理念「自然と文化が奏でる軽井沢」を基本的なビジョンとして踏まえつつ、特に、同計画で掲げる「軽井沢のさわやかな環境を守り、また楽しさを享受し、人と自然がいかに共生していくか」「保養地としての活力を生む新たな産業システムをどのように創りあげるか」「ホスピタリティを持った受け入れと、住民の生活環境のバランスをいかに図るか」に忠実に従うことを基本方針に、軽井沢町エコツーリズム推進協議会、ツアーを実施するガイドや団体等、その他エコツーリズムを含む観光に関わる様々な人々、参加者等の様々な関係者が全体構想に掲げるルール及び関係法令を遵守しつつエコツーリズムの推進に取り組む。

○主なエコツアー

- ① 森林を活用したツアー（トレッキング、ハイキング等、森林浴・森林セラピー）
- ② 生物を活用したツアー（バードウォッチング、ムササビウォッチング）
- ③ 浅間山等の火山を活用したツアー（火山について学ぶツアー）
- ④ 豊かな文化を継承し、伝統を活かした多種多様な追体験をすることを目的とするもの

■軽井沢エコツアーリズム推進全体構想の推進体制

軽井沢町エコツアーリズム推進協議会

軽井沢町、軽井沢観光協会、軽井沢町商工会、軽井沢町区長会、軽井沢旅館組合、軽井沢ホテル協会、(株)ライジングフィールド、(株)白糸ハイランドウェイ、軽井沢観光ガイドの会、(株)ピッキオ他

軽井沢町エコツアーの写真

